

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年2月26日

事業所名 あすなろわかば

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		3部屋に分けて配置している	・今後も利用定員に配慮しながら活動を継続してまいります。
	2 職員の配置数は適切である	5	1	多めに配置している	・職員配置数はアルバイトを含め、多めに配置しております。利用者1~3人に対して職員1人を配置しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	4	・階段に手すりがついている ・スロープが無いため、車いすが厳しい	・階段に滑り止めシートや手すりを設置しております。段差が多いため必要に応じて、できる限りの改善に努めます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	終礼での確認	・更なる業務改善向上のため、努力してまいります。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			・職員間の話し合いを密に行い、保護者様からのニーズに対応できるよう対策してまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	把握していない	・HPでは公開していますがまだまだ周知不足のため、積極的な発信を心がけます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	現状第三者評価をやっていない	・年1回の自己評価アンケート以外は未実施。要検討中。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		定例会での実施	・オンライン研修なども取り入れ、昨年度より実施回数を増やしています。今後も継続予定。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			・利用者と保護者のニーズを客観的に分析し、計画を策定しています。今後も継続してまいります。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	ツールは活用していない	・各プログラムに応じたアセスメントツールの導入を検討中です。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		・チーム間での話し合いを強化し、1カ月間のプログラムを立案しています。1日1日の活動案については、担当者が立案後に全体へ発表し、第三者からの意見を取り入れ改善向上したものを利用者へ提供しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		曜日ごとに各々のPGの実施	・平日は個人の課題に合わせたプログラムを、一定の枠組みの中で内容を変えて実施しています。固定化しないよう、スタッフ間での話し合いを怠らず工夫を重ねています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	個別支援計画にPGの狙いを記載	・コロナ禍のため制限が多い中、利用者ができるだけ多くの体験ができるよう余暇支援に努めています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			・個別活動、集団・少人数活動に分けて計画を立案しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		ホワイトボードの掲示	・基本的に終礼で前日にスタッフ間での打ち合わせを実施しております。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		・終礼の実施 ・支援方法を職員間で質問をしたり、案を出し合って協議している	・毎日の終礼で気づいた点など共有し、フィードバックを行うことを徹底しています。今後も継続してまいります。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		ケース記録	・毎日のケース記録により、支援を可視化できると感じています。内容向上のため、研修等も行っておりま。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			・感染症により時期にずれが出ることもありますが、モニタリングはできる限り実施できております。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	2	・基本活動を把握していない ・ガイドラインの総則が全体に周知されていない	・年に一回、全職員にガイドラインの配布を行い周知していく	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	稀に抜けている事がある	・職員間での情報共有の徹底を行います
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1		・現在、医療的なケアを必要とする利用者を受け入れていないため、必要に応じて取り組んでまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2		・モニタリング時にできる限りの情報収集を行い、必要となればこちらから連絡し情報共有を実施しております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1		・小学生対象のデイサービスのため、中学生対象のデイへ移籍する場合は情報提供しています。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1		・アドバイス頂きながら支援に活用しています。もっと密な連携がとれるよう、体制強化してまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	交流の機会がない	・今後さらなる地域交流に努めてまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	4	存在は知っているが、参加までには至っていない	・検討中
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			・連絡帳やモニタリングを通して、共通理解を図っております。より多くの情報共有に向けて、職員のコミュニケーションスキルの向上に努めてまいります。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1		・現在準備中	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			・契約時に実施しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			・連絡帳、通話、LINEを活用して支援させて頂いております。より多くの相談場所を提供していくことが今後の課題点です。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	・プライバシーの観点から、保護者同士の連携が厳しい場面がある	・現在準備中
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			・苦情相談窓口を設置しているため、その周知も含めて活動してまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			
	35	個人情報に十分注意している	6			・今後も継続して個人情報の取扱いには慎重な注意を払ってまいります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3		・現在手話サークルのボランティア団体に来所していただき、今後も連携を継続していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2		・昨年度より委員会設置および活動を実施しております。今後も保護者への周知を行ってまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1		・災害委員会を設置し、研修を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			・委員会活動に今後とも力を入れてまいります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1		・契約時に保護者へ説明をおこなっています。 ・委員会を設置し、今後活動実施してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1		・緊急連絡先カードの改訂を実施し、食品アレルギーの項目の追加を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			・毎月の会議で各事業所のヒヤリハットの共有を行い、事例検討をスタッフ間でしております。 今後とも力を入れて取り組んでまいります。